# 公益財団法人とちぎ建設技術センター職員採用試験申込書

網掛けの欄は必ず記入してください。（必須項目）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 職種 | 総合技術職 | ふりがな<br>氏名 | けんせつ　せんた<br>建設　センタ |
| 生年月日 | | 平成 1 年 6 月 29 日 生 | 37 歳 |
| （ふりがな）<br>現住所 | | とちぎけんうつのみやしたけばやしまち<br>〒 321 － 0974<br>栃木県宇都宮市竹林町1030－2<br>方（下宿等の場合は必ず記入してください。） | |
| メールアドレス<br>（合格通知等の連絡手段で使用します。） | | saiyou ＠ tochigictc.or.jp | |
| 電話番号<br>※携帯電話がある場合は携帯電話番号 | | 090 － 1234 － 5678 | |

**学歴**
高校からの学歴を記入

| 学校名 | 学部学科名 | 在学期間 | 修学年限等 |
|---|---|---|---|
| （最終学校）<br>建設大学 | 建設 学部<br>建設 学科 | 平成 20 年 4 月から<br>平成 24 年 3 月まで | 4 年課程<br>卒業 |
| （その前の学校）<br>建設高校 | 学部<br>電子 学科 | 平成 17 年 4 月から<br>平成 20 年 3 月まで | 3 年課程<br>卒業 |
| （その前の学校） | 学部<br>学科 | 年 月から<br>年 月まで | 年課程 |

**職歴**
該当する場合のみ記入

| 勤務先（部署名まで） | 所在地（市区町村まで） | 在職期間<br>基準日：申込日（1か月未満切捨て） | 主な担当業務 |
|---|---|---|---|
| 建設技術株式会社<br>工事部 | ○○県○○市 | 平成 24 年 4 月から<br>令和 8 年 10 月まで | 測量・工事現場監督等 |
| | | 年 月から<br>年 月まで | |
| | | 年 月から<br>年 月まで | |

**資格・免許**
職務に関連するもののみ記入

| 資格・免許名 | 取得年月 | 備考 |
|---|---|---|
| 1級土木施工管理技士 | 平成 29 年 10 月取得 | |
| 1級電気工事施工管理技士 | 令和 6 年 5 月取得 | |
| 普通自動車運転免許 | 平成 20 年 9 月取得 | |
| | 年 月取得 | |

**誓約書**

私は、この申込書に記載した内容が全て真実であり、虚偽の記載がないことを誓約します。
万が一、虚偽の記載が判明した場合には、採用選考の取消又は採用後においても解雇となることについて承諾します。

令和 8 年 ○ 月 ○ 日

☑ 確認後☑してください

## 職務経験等記載欄

○職務経験がある方　あなたの職務経験（どのような仕事をしてきたのか）を具体的に記載してください。
○職務経験がない方　あなたの卒業(予定)学校（高校、大学等）において、どのような勉強（専攻科目、課題研究等）をしてきたのか具体的に記載してください。
欄が不足する場合は適宜広げてください。

（例1）
私は、これまで道路や河川の維持管理業務に従事し、主に以下の内容に取り組んできました。
・道路設計補助　CADソフトを使用して道路図面を作成し、工事費の算出を行いました。
・河川改修工事の施工管理　洪水対策として河川堤防の補強工事に携わり、工程管理や品質管理を行いました。
・災害復旧支援　台風による災害発生後、現地調査を行い復旧計画を立案しました。
これらの経験を通じて、現場調整力と計画遂行力を身につけました。

（例2）
私は、これまで公共施設の電気設備の設計及び保守管理業務に従事しており、以下の業務を経験しました。
・照明設備の設計および更新工事　学校施設の老朽化した照明をLED化するプロジェクトで、設計と施工管理を担当しました。
・配電盤の点検及び改修　公共施設の配電盤の定期点検を行い、異常箇所の早期発見と修繕を実施しました。
・太陽光発電システムの設置計画　地域における再生可能エネルギーの利用を促進するため、太陽光発電設備の設置計画に携わりました。
これらの経験を通じて、省エネルギー意識の向上と安全性確保に努めました。

（例3）
私は、工業高校の土木科で土木技術の基礎知識と実践的な技術を学びました。特に、以下の科目に力を入れて取り組みました。
・測量　平板測量やトランシット測量を実習で経験し、地形図の作成や高さの測定を行いました。グループで協力し、正確な測量データを計測、取得する重要性を学びました。
・材料力学　コンクリートや鋼材の特性について学び、建設材料の選定が構造物の安全性にどう影響するか理解を深めました。
・設計製図　道路や橋梁の設計図をCADソフトで作成する技術を学びました。特に、構造物の配置や寸法の精度に注意して設計する力を身につけました。

（例4）
私は、大学の土木工学科で構造物の設計や施工、環境保全に関して基礎から応用まで幅広く学びました。特に以下の分野に注力しました。
・構造力学　構造物に働く荷重や応力を計算し、安全性の高い橋梁や建物を設計するための基礎理論を学びました。また、解析ソフトを用いて具体的な設計を行う演習に取り組みました。
・水理学　河川や水路内の流体の挙動を数値解析し、洪水対策や排水設計の理論を勉強しました。特に、水位上昇の影響をモデル化する実験を通じて、自然災害のリスク評価に興味を持ちました。
・地盤工学　地盤の強度特性を評価するため、土質試験や地盤改良の設計手法を学びました。実際の建設現場を想定したケーススタディでは、地盤沈下の影響を考慮した設計演習に取り組みました。

## 本人希望等記入欄

待遇等に対する疑問や希望がありましたら記入してください。

（例1）
貴センターに採用された場合の勤務条件について詳しく知りたい。

（例2）
異動や転勤はどのくらいの頻度であるのか。

## アンケート欄

あなたは、採用試験のことを何で知りましたか。該当するものに☑してください。

- ☐ 当センターホームページ
- ☐ 市町の技術系公務員採用情報サイト
- ☑ 就職情報サイト（サイト名　Indeed　）
- ☐ 求人広告
- ☐ 知人等からの情報提供
- ☐ その他（　　）

## 法人説明会

希望する場合、面接試験後に実施します。（所要時間30分）

- ☑ 希望する
- ☐ 希望しない